

市 会 議 長 様

会派の名称

日本維新の会神戸市会議員団

会派の代表者の氏名

ながさわ 淳一



管 外 調 査 に つ い て (届 出)

このたび、下記により海外での管外調査を行うことになりましたので、お届けします。

1 調査目的

議長並びに神戸観光局の訪台にあわせて神戸市が従来より親交と連携をしてきた台湾との経済、港湾、観光、教育等における一層の連携方法と現状の課題について調査する。

2 調査内容

上記目的を達成する為には交通部、僑務委員会では副大臣級、外交部では公使、民主進歩党を訪問し神戸市に対してコロナ禍においても多大なる支援を決定した潘孟安前屏東県知事、新竹県政府・議会関係者、基隆市議会議長、タイガーエア本社との意見交換会を行う。

本年MOUを締結した桃園市を訪問し、実際に神戸市との連携状況を把握し、効果検証と課題を把握する。

3 調査項目

- ・神戸空港の台湾線就航実現の為の課題について
- ・神戸市と台湾との経済・港湾・観光・教育等における連携強化について
- ・神戸市と僑務委員会、在外台湾人団体、在外台湾人との連携強化・友好発展について

4 調 査 先 (訪 問 先)

- ・民主進歩党 ・外交部 (台湾日本関係協会) ・新竹県政府
- ・タイガーエア本社 ・交通部 ・基隆市議会 ・僑務委員会
- ・桃園市政府 ・桃園メトロ

5 調査者氏名

外海開三 住本かずのり 黒田武志 なんのゆうこ 岩谷しげなり

6 調査期間

2023年 11月 22日 (水) ~ 2023年 11月 25日 (土)

※ 詳細は、別紙「調査活動日程」のとおり

7 調査経費

1,357,900 円

(内訳)

① 旅費 (単位：円)

区 分	届出額	備 考
宿泊代	363,000	
航空賃	367,000	
鉄道賃等	14,300	ベイシヤトル
日当	162,000	
空港使用料等	135,000	燃油サーチャージ含む
合計	1,041,300	

② 現地経費等 (単位：円)

区 分	届出額	備 考
備車費用	316,600	
通訳等費用		
合計	316,600	

8 調査の代表者及び緊急時の連絡先

代表者

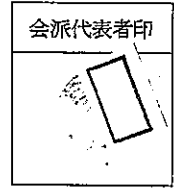
外海 開三

090-7354-8926

調査活動日程

	月日	都市名	現地時刻	交通機関	調査先(訪問先)及び調査項目	宿泊地
1	11月 22日	桃園市	22:00	MRT	18:55発 関西国際空港 (チャイナエアラインCI173) 21:10着 桃園国際空港 ●桃園メトロ MRTによる桃園国際空港から台北市内 へのアクセスについて 台北市 パレデシンホテル泊 (台北君品酒店)	台北市
2	11月 23日	台北市 新竹県	11:00 14:00 18:00	備車	●民主進歩党 潘孟安 前屏東県知事 神戸市と台湾との経済・港湾・観光・ 教育等における連携強化 ●台湾日本関係協会 張仁久公使 神戸市と台湾との経済・港湾・観 光・教育等における連携強化 ●新竹県政府 神戸市と台湾・新竹県との経済・港 湾・観光・教育等における連携強化 台北市 パレデシンホテル泊 (台北君品酒店)	台北市
3	11月 24日	台北市 基隆市 台北市	9:00 10:00 14:30	備車	●タイガーエア本社 神戸空港の台湾線就航実現の為の課 題について ●交通部 (常務次長・副大臣級) 神戸空港の台湾線就航実現の為の課 題について ●基隆市議会 (議長) 神戸市会と基隆市議会との経済・港 湾・観光・教育等における連携強化 ●僑務委員会 (副委員長・副大臣 級) 神戸市と僑務委員会、在外台湾人団 体、在外台湾人との連携強化・友好 発展について 台北市 パレデシンホテル泊 (台北君品酒店)	台北市
4	11月 25日	桃園市	9:30	備車	●桃園市政府 (旅游局) MOU締結後の現状と課題 神戸市と桃園市との経済・観光分野 における連携強化 14:20発 桃園国際空港 17:45着 関西国際空港 (チャイナエアラインCI172)	帰国

市 会 議 長 様



2023年 3月 6日

会派の名称

日本維新の会神戸市会議員団

調査代表者の氏名

外海 開三



管 外 調 査 報 告 書

このたび、海外での管外調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

1 調 査 者 氏 名

外海開三 住本かずのり 黒田武志 なんのゆうこ 岩谷しげなり

2 調 査 先

・桃園空港MRT ・民主進歩党 ・外交部 ・台湾日本関係協会 ・新竹県政府
・タイガーエア本社 ・交通部 ・基隆市議会 ・僑務委員会 ・桃園市政府
・桃園メトロ

3 調 査 日 程

2023年 11月 22日 (水) ～ 2023年 11月 25日 (土)

※ 詳細は、別紙「調査活動日程」のとおり

4 精 算 額

① 旅費

(単位：円)

区 分	届出額	精算額	過不足 (不足▲)
宿泊代	363,000	363,000	0
航空賃	367,000	367,000	0
空港使用料等	135,000	135,000	0
鉄道賃等	14,300	14,300	0
日当	162,000	162,000	0
合計	1,041,300	1,041,300	0

② 現地経費等

(単位：円)

区 分	届出額	精算額	過不足 (不足▲)
備車費用	316,600	316,600	
手数料	0	220	▲220
合計	316,600	316,820	▲220

5 調査結果の概要・成果

(訪問先での意見聴取・意見交換の内容, 調査で得られた成果, 今後の取り組み等)

別紙の通り

6 参加者の所見

調査者氏名 外海 開三

別紙の通り



調査活動日程

	月日	都市名	現地時刻	交通機関	調査先(訪問先)及び調査項目	宿泊地
1	11月 22日	桃園市	22:00	MRT	18:55発 関西国際空港 (チャイナエアラインCI173) 21:10着 桃園国際空港 ● 桃園空港 MRT MRTによる桃園国際空港から台北市内 へのアクセスについて 台北市 パレデシンホテル泊 (台北君品酒店)	台北市
2	11月 23日	台北市 新竹県	11:00 14:00 18:00	備車	● 民主進歩党 潘孟安 前屏東県知事 神戸市と台湾との経済・港湾・観光・ 教育等における連携強化 ● 台湾日本関係協会 張仁久公使 神戸市と台湾との経済・港湾・観光・ 教育等における連携強化 ● 新竹県政府 神戸市と台湾・新竹県との経済・港 湾・観光・教育等における連携強化 台北市 パレデシンホテル泊 (台北君品酒店)	台北市
3	11月 24日	台北市 基隆市 台北市	9:00 10:00 14:30	備車	● タイガーエア本社 神戸空港の台湾線就航実現の為の課題 について ● 交通部(常務次長・副大臣級) 神戸空港の台湾線就航実現の為の課題 について ● 基隆市議会(議長) 神戸市会と基隆市議会との経済・港 湾・観光・教育等における連携強化 ● 僑務委員会(副委員長・副大臣級) 神戸市と僑務委員会、在外台湾人団 体、在外台湾人との連携強化・友好発 展について 台北市 パレデシンホテル泊 (台北君品酒店)	台北市
4	11月 25日	桃園市	9:30	備車	● 桃園市政府(旅游局) MOU締結後の現状と課題 神戸市と桃園市との経済・観光分野に おける連携強化 14:20発 桃園国際空港 17:45着 関西国際空港 (チャイナエアラインCI172)	帰 国

使途項目	管外調査 費	領収書 整理番号	10-1
------	--------	-------------	------

(領収書等貼付面)

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご覧ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ¥1,195,900
振込手数料 ¥220

お受取人は

ガ) ニホツツアーサービス 様

お振込人は

ニッホ・ソイツソノカイ コウヘツカイキ イツタ
ソ タ ソチヨウ ナカ サワ ツ ユソイ 様

お取扱日 5.12.25 電信振込

取扱店	機種	年 月 日	時刻	印紙税申告納 付につき廻町 税務署承認済
59881		5.12.25	15:25	
銀行番号			店番号	口座番号等

三井住友銀行

(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)

(備考)	01/22~1/25) 台湾視察 (外海議員、佐本議員 黒田議員、たぬ議員、岩谷議員)	小計(単位:円)	1,196,120
------	---	----------	-----------

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	10-1
------	-------	-------------	------

(請求書・納品書等貼付面)

2023年11月25日

請求書

日本維新の会神戸市会議員団 御中



(観光庁長官登録1種旅行業 第2057号)

株式会社日本観光サービス
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区豊崎4-1-1
新大阪駅前北口ビルディング
TEL:06-7668-8384
FAX:06-7668-8438

この度はお見積りのご用命をいただき、有難うございます。
下記をご確認いただき、不明な点がございましたらご連絡下さい。

代表取締役社長：藤澤 洋

総合旅行業務取扱管理者：[]

担当者：[]

速格請求書発行事業者番号：T514000101

ツアー名：台湾行き

◆フライトスケジュール

利用日	便名	出発地	到着地	出発時間	到着時間
2023年11月22日	CI173	関西空港	台北(桃園)	18:55	21:10
2023年11月25日	CI173	台北(桃園)	関西空港	14:20	17:45

◆明細

利用日	商品名	販売単価	数	販売金額	備考
11月22日	旅行代金	73,400	5	367,000	チャイナエアライン エコノミークラス
	日本国内空港使用料(課税)	3,100	5	15,500	
	国際観光旅客税	1,000	5	5,000	
	海外空港税	2,320	5	11,600	
	燃油サーチャージ	20,580	5	102,900	
11月22日	宿泊代金	24,200	15	363,000	台北酒店(Palais de China) 3泊×5食
11月23日	専用車代金	127,760	1	127,760	8時~22時(大型バス 日本語ガイド付き)
11月24日	専用車代金	127,760	1	127,760	8時~22時(大型バス 日本語ガイド付き)
11月25日	専用車代金	61,080	1	61,080	8時~空港送迎(大型バス 日本語ガイド付き)
11月22日	ハイシャトル	2,860	5	14,300	神戸空港⇄関西空港(往復)

合計金額	¥1,195,900
------	------------

10%見積合計 ¥29,800 (内消費税) ¥2,709
0%見積合計 ¥1,166,100 消費税合計 ¥2,709

<お振込口座>



カ) ニホンツアーサービス

※恐れ入りますが、振込手数料はお客様にてご負担願います。

(請求書・納品書は重なり合わないよう貼付してください。領収書等を貼付しないでください。)

(備考)

(11/22~11/25)台湾視察 (外海議員, 住本議員, 黒田議員, たんの議員, 岩谷議員)

令和 5年 11月 10日

市 会 議 長 様

会派の名称 日本維新の会 神戸市会議員団

会派の代表者の氏名

ながさわ 淳一

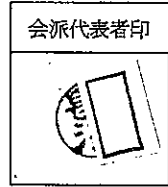


管 外 調 査 に つ い て (届 出)

このたび、下記により管外調査することになりましたので、お届けします。

調査者氏名: (議員) ながさわ淳一、住本かずのり、高橋としえ、山本のりかず、大井としひろ、 三木しんじろう、黒田武志、さとうまちこ、川口まさる、原直樹、なんのゆうこ、 のまち圭一、岩谷しげなり (政務調査員) 			
月 日	調査先	調査項目	文書依頼の要否 (到着予定時刻)
12月13日	東京国際空港ターミナル(株)	羽田空港第3ターミナルビジネスジェット専用ゲート、国際線ターミナルなど	要 (: 頃) <input checked="" type="checkbox"/> 否
12月13日	横浜市港湾局	横浜港カーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用システムなど	<input checked="" type="checkbox"/> (15:00 頃) 否
12月14日	泉陽興業(株)ヨコハマエアキャビン事業所	都市型ロープウェイの運営状況など	要 (: 頃) <input checked="" type="checkbox"/> 否
12月14日	京浜フェリーポート(株)	横浜港内のクルーズ船の運営状況など	要 (: 頃) <input checked="" type="checkbox"/> 否
上記のとおり調査期間は 2023年 12月 13日から 12月 14日まで 2日間			備 考
① 議 員 (13名分)		619,840円	
② 政 務 調 査 員 (1名分)		44,380円	
③ 管外調査費合計 (①+②)		664,220円	
			調査代表者 ながさわ淳一

市 会 議 長 様



2024年 3月 28日

会派の名称

日本維新の会 神戸市会議員団

調査代表者の氏名

ながさわ 淳一



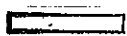
管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、下記のとおり報告します。

記

1 調査者氏名
議員

ながさわ淳一、住本かずのり、高橋としえ、山本のりかず、大井としひろ、三木しんじろう
黒田武志、さとうまちこ、川口まさる、原直樹、なんのゆうこ、のまち圭一、岩谷しげなり
政務調査員



2 調査先

東京国際空港ターミナル(株) 横浜市港湾局 泉陽興業(株)横浜エアキャビン事業所
京浜フェリーポート(株)

3 調査期間 2023年 12月 13日から 2023年 12月 14日まで

4 精 算 額

区 分	調 査 者	調査費合計額(①)	①のうち航空賃	①のうち鉄道賃 (急行料金, 座席指定 料金等が必要なもの)
届 出 額	議員 13名 政務調査員 1名	664,220 円	164,780 円	209,440 円
精 算 額	議員 13名 政務調査員 1名	663,320 円	164,780 円	209,240 円
過 不 足 (不足△)		900 円	0 円	200 円

※航空賃, 鉄道賃(急行料金, 座席指定料金等が必要なものに限る。)については, 領収書を様式18に貼付のうえ提出してください。

5 調査結果の概要

別紙の通り

管外調査報告書

日本維新の会神戸市会議員団会派視察



令和5年12月13日～14日
横浜方面

日本維新の会 神戸市会議員団

令和6年 1月 15日

日本維新の会神戸市議員団

団 長 ながさわ淳一
大井としひろ
高橋としえ
住本かずのり
三木しんじろう
黒田武志
山本のりかず
さとうまちこ
川口まさる
原直樹
なんのゆうこ
のまち圭一
岩谷しげなり

【日時】2023年12月13日（木）11:00～12:30

【視察先】東京国際空港ターミナル株式会社
「羽田空港ビジネスジェット専用ゲート」 「羽田空港 国際線第3ターミナル」

（ご担当者）東京国際空港ターミナル株式会社 広報担当 様

■羽田空港ビジネスジェット専用ゲート

【内容】神戸市では、2025年の大阪・関西万博を契機に航空需要が見込まれ、市は国際チャーター便の発着場となる新ターミナルの整備を進めている。プライベートジェットの航空需要拡大をチャンスと捉え、神戸空港島でのプライベートジェット運営に必要な施設や利用者のニーズを把握するため、2021年秋に供用開始した羽田空港の専用ゲートを視察。

専用ゲートは、羽田第3ターミナルから徒歩5分ほどに位置し、専用ゲート入り口はシンプルな構造であるもののアート衣装が飾られすっきりとした印象。工期は2021年1月から7月。短い工期ながら、工費については約10億円とのこと。

当該施設について利用者からの意見は、世界一と評価を受けているとのこと。いかにして利用者へのサービス向上を図っているかについてのポイントは、利用者にストレスフリーの状況で施設を利用していただけるとのことが重要で、24時間利用可能で国との調整により毎日15便飛べることも強調された。



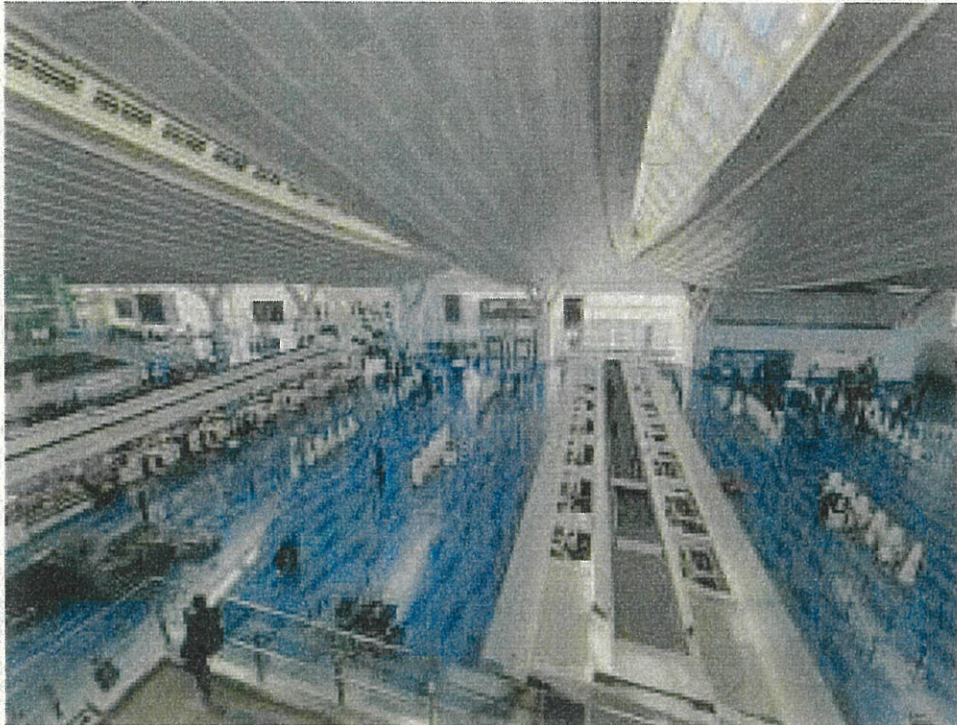
【所見】羽田空港のビジネスジェット専用施設では、プライベートジェット利用者のプライバシーを確保しつつ手続きを行える工夫があった。

専用施設では、短時間で出入国手続きを行えることが求められるとのこと。また、これは真似できないが、専用機に乗る際に好天であれば富士山が見えるロケーションが最大のアピールポイントとのこと。専用ゲートは、シンプルな印象を受けた。利用者の滞在時間が短いことを考慮すれば理にかなっており、今後、神戸空港島でのプライベートジェット施設を建設するに際しては、施設の動線や手続きをいかにスムーズにしていくかが大切なポイントとなると考える。施設整備関係者には、ぜひ日本のみならず世界の施設を調査研究していただき、神戸空港島に魅力あるプライベートジェット専用施設を整備していただきたいと考える。



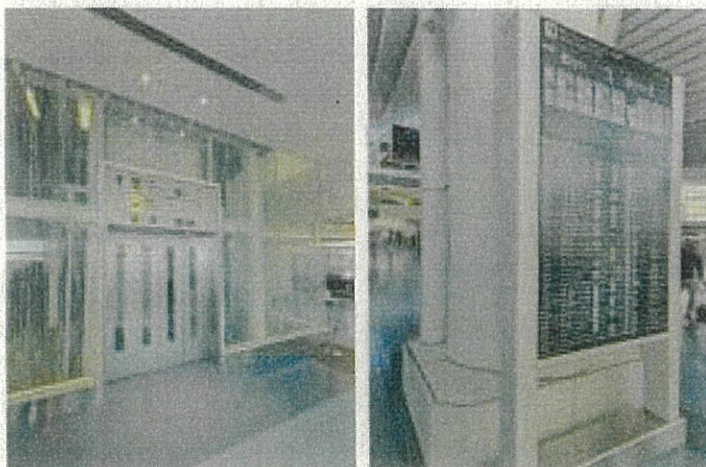
■羽田空港 国際線第3ターミナル

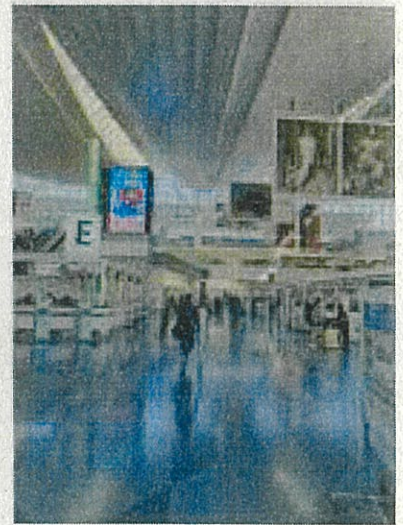
【内容】第3ターミナルは5階建てで、2階が到着ロビー、3階が出発ロビーで、羽田空港の職員の方には4、5階を中心にご案内いただいた。



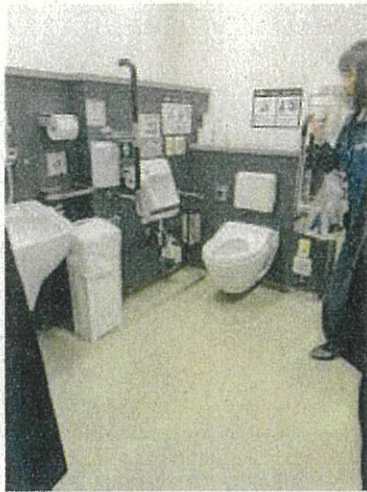
通常のエレベーターの入口より幅を広げることにより、乗降しやすくしたり、乗る時と降りる時に開く扉を反対方向にすることにより、車いすをエレベーター内で方向転換する必要を無くしている。また、トイレのアナウンスは簡潔で分かりやすい内容にする。ターミナル中央部には、頭をあげることなく目線に合わせた電光掲示板の設置など、空港内は広くユニバーサルデザインを導入しており、全てのお客様に安心してご利用いただける「より優しい」ターミナルづくりに取り組んでいる。

これらの取組は、ユニバーサルデザイン検討委員会が設置され、多様な障がい者、有識者の意見を取り入れ、移動の円滑化を図っている。また、緊急時における、車いす使用者、視覚障がい者などへの要サポート対応訓練を継続的に実施し、ターミナル内の問題点や課題について調査、改善を継続して行っている。





省エネ・省 CO2 対策について、最先端の省エネルギー技術と自然エネルギーを組み合わせ、省エネ・省 CO2 対策を行っており、空港内は広く、特に第 3 ターミナルは天井が高いため、冷暖房の空気を全体に行き渡らせるには相当なエネルギーを要することから、人の背の高さで、快適な温度設定が保てるように工夫して作られた「エアプリーズタワー」を設置している。



空港の福祉設備については、ユニバーサルデザインで充実していた。

トイレはジェンダーに配慮されており、アナウンスが「トイレ」から始まるなど、視覚障がいの方へのわかりやすい配慮があった。

障がい者トイレは左右対称にするなど、左手や右手が使えないという方への配慮もあった。

介助用ベッドも設置されており、使いやすい位置にゴミ箱がある。

エレベーターの入り口も、ボタンは側面に付いており、コの字型で引っかかることのない形状となっている。視覚障害の方へ、非常ボタンは青色としていた。

外観は、弱視の方に配慮して、シースルーにも縦線のデザインでぶつからないようにしていた。

車椅子三台は入れるとの事だったが、一番大きい寝た姿勢での車椅子には対応していないとの事で、これは今後の課題ではないか。



フライトインフォメーションは小さいが、誰でも見える位置に配置されていて、フォント近くは黒地に白、遠くは逆にするなど UD フォントを使用している。

点字ブロックについては、最小限に留めており、案内所の前で途切れるようになっている。歩いて来られたらスタッフが案内するというシステムだった。点字板を案内所の手前で止めることは、健常の方がスーツケースと共に歩きやすいよう、利用者みんなに優しいデザインとなっている。

また、全国初の盲導犬用のトイレも設置されていた。実際にはまだ一度程度しか使われていないとの事だが、これから全国で広がるきっかけとなるのではないかと考える。



【所見】空港内は、買い物、食事、ビジネス施設に加え海外からの観光客にも喜ばれる仕掛けを多く取り入れ、広報コーナーや展望デッキは勿論のこと、江戸小路、江戸舞台、江戸前横丁などがあり、機内への持ち込み用にも考えられた、多くのテイクアウトグルメがあり、利用者目線になっている。多くの工夫や仕掛けを導入し、滞在しやすい施設、飛行機を利用しなくても訪れたい空港であると感じた。

【日時】2023年12月13日（木）15:00～16:30

【視察先】横浜市港湾局 政策調整部 政策調整課
「横浜港のカーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用について」

（ご担当者）横浜市港湾局 政策調整部 政策調整課
カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 様
横浜市港湾局 政策調整部 政策調整課担当係長 増田雄祐 様

■横浜港のカーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用について

【概要】横浜港は我が国を代表する総合港湾であり、周辺地区には工業エリア、客船ターミナル・再開発商業エリア、コンテナ物流エリア、自動車輸出エリアなど様々なエリアを持つ港である。しかしながら、横浜港はエネルギー基地が横浜にないため、神戸港と似た環境にある。例えば、横浜は川崎地区コンビナートがあり、神戸は姫路広畑地区にコンビナートがある。それぞれエネルギーをそこに依存している。

横浜港は2020年12月に国土交通省から「CNP形成に取り組む港」に選定され、CNPを目指して、次世代の水素・アンモニア等の次世代エネルギーを使用することで、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする港湾の2050年実現を目指し計画を市独自にたてることにした。まず、水素利活用について検討がなされ、横浜市臨海部の2050年の水素転換割合を27%と設定して水素と利活用全体のバランスをとることにした。



横浜市臨海部で期待されているカーボンニュートラルポートの取組

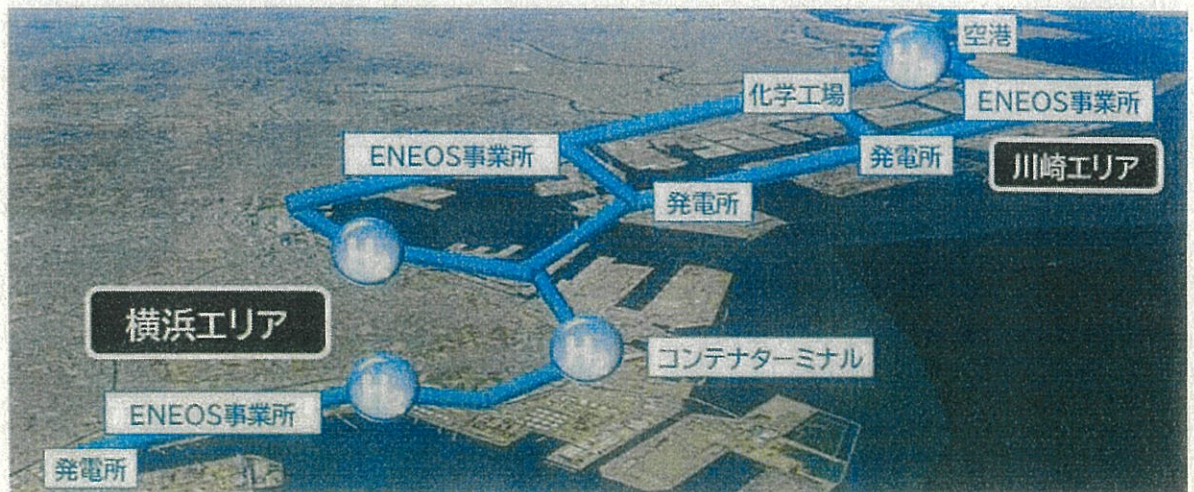
国内では、横浜市と川崎市と水素等の活用拡大に向けた連携協定を2022年7月に締結。海外からの水素運搬船で運んだ水素を受け入れ基地で貯蔵し、水素パイプラインで各港湾施設に送ることでCNPを実現する計画としている。



横浜市-川崎市の連携イメージ図

民間との連携については、ENEOSと水素サプライチェーン構築に向けた協定を締結しており、臨海部の脱炭素社会から水素社会の実現に官民で挑戦している。取り組みとしては、臨海部をパイプライン等の水素供給のインフラ整備を二者が連携して整備推進することで、水素利活用を加速させる環境を整えるというものである。因みに、川崎市は川崎重工業と連携協定を結んでいるのだが、横浜とENEOS、川崎と川重はどう民間との連携の違いがあるのかと質問したところ、担当者からは、ENEOSは「運ぶ」、川重は「貯める」が得意分野なのでそれぞれで役割を明確かして取り組んでいるとのことである。

その他にも、次世代船舶の洋上船に燃料供給するための「LNG」「アンモニア」バンカリング、スタートアップ事業の「パワー-X」（海から生み出された電力をその場で電池に蓄電し、船で運んで提供するシステム）、「船舶向けゼロエミチャージャー普及推進協議会」に参画して停泊中の船舶から排出される二酸化炭素削減するために陸上電力供給設備の整備を進めている。FC-RTG（荷役機械）向けの水素ステーションのレイアウトを具体的に検討している。これは、タイヤ式トランスファークレーンの動力源を水素燃料電池に転換することを目的にしたものである。



水素インフラ網の将来構想イメージ図



【所見】世界中で頻発する自然災害への危機感を背景に、国際的な脱炭素の動きが加速している中で、神戸市においてもカーボンニュートラルCNPの形成に向けた取り組みを行っている。

横浜市は、我が国の輸出入の99%超を取り扱う物流拠点であり、多くの企業が立地している産業拠点である。横浜港には、港湾施設やロジスティクス機能が集積されており、「2020年コンテナ港湾生産性指数」において世界1位を獲得するなど、世界でも有数の総合物流港湾として発展を続けている。その強みを活かし、将来的には脱炭素・低炭素エネルギーの輸入等を行う拠点となり得る。

また、臨海部には、大規模なエネルギー供給インフラと再生可能エネルギー発電所が集積しており、内陸部にかけては大量のエネルギーを消費する受容も存在している。したがって脱炭素、低炭素エネルギーを地域へ供給するポテンシャルもある。

昨年には、隣接する川崎市との間で水素等の次世代エネルギーの利活用拡大に向けた連携協定を締結した。水素等の供給体制・需要の拡大・そのための調査・実証の面から協力するとの内容になっている。広域連携によって競争力を上げ、横浜臨海部が、日本のカーボンニュートラルの牽引役となることを企図している。



脱炭素イノベーション協議会、横浜港脱炭素化推進臨海部事業所協議会、ブルーカーボン等神戸市と似通ったところが多い。一方、神戸市は水素スマートシティ構想を掲げ、地球温暖化防止の切り札として水素に注目していることは言うまでもないが、視察を通じて感じたことは連携協定を結んでいる横浜市と川崎市が広域で連携して、水素供給網などの整備を進め、脱炭素社会に向けて需要の創出、港湾機能の高度化などの取り組みを加速させていきたいとのことですが水素等の需要創出及び供給拡大、技術開発の促進を目指して、企業間連携には、まだまだ課題があるとの説明もあった。

横浜市の港湾 CNP については、民間や近隣都市との連携することで、水素産業の「作る」「運ぶ」「貯める」を効率よく計画しサプライチェーン構築に向けての取り組みを進めている。また、担当者はすべてのエネルギーを水素に変換することは非常に難しいと考えており、臨海各地域におけるエネルギーのベストミックスを目指して計画している感がみられ、非常に現実的に進められている。横浜港は神戸港と比較しても規模が大きく、民間投資も積極的に行われていると感じた。

神戸市においても更なる水素事業を推進することで、民間投資しやすい環境整備が必要である。それによって西日本地区の水素サプライチェーンの構築を進め、市内の中小企業が水素関連事業に参画することで水素産業を確立させる必要がある。各自治体でのカーボンニュートラルの取り組みが進む中、神戸市は「水素スマートシティ神戸構想」のもと産学官連携で取り組んではいるが、都市間競争が激しくなる中で更なる推進が必要と感じた。

神戸市では、神戸港に停泊する船に陸上から電力を供給する設備が完成。公共埠頭に電力供給設備を備える港は珍しいとのことですが、電力供給に対応した船舶がまだ少ないこと、電気の使用料金が重油よりも高いことなど課題は山積している。2050年までのカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて次世代エネルギーの需要や利活用方策の導入に関する課題解決のための開発はまだ実装までにはかなりの時間を要するが関係事業者、学識者、行政等が連携して実現可能性を検討されることを期待する。



【日時】2023年12月14日 9:30~12:00

【視察先】泉陽興業株式会社 (YOKOHAMA AIR CABIN)
「都市型ロープウェイの運営状況と観光需要について」

(ご担当者) 泉陽興業株式会社 東京支社
ロープウェイ事業部 ヨコハマエアキャビン事業所 様

■都市型ロープウェイの運営状況と観光需要について

【概要】YOKOHAMA AIR CABINは、横浜市のみなとみらい地区にある新しい観光施設である。2017年に横浜市の「まちを楽しむ多彩な交通の充実」という公費支出を伴わない民間投資により街を楽しむ環境を充実させていく目的で公募が行われ、その中で隣接地のよこはまコスモワールドを運営する民間企業である泉陽興業(大阪市)のロープウェイ案が採用された。

2021年4月に開業し、横浜駅と赤レンガ倉庫を結ぶ約630メートルを空中ロープウェイで、ゴンドラに乗って横浜の景色を楽しむことができる、日本初の都市型循環式ロープウェイである。

このロープウェイの建設にあたっては、泉陽興業がロープウェイの建設や運営費用を全額負担し、横浜市は設置場所の占用・使用許可のみで公費負担はなく、みなとみらい地区の更なる活性化と観光振興のために取り組んだ民設民営の施設である。



YOKOHAMA AIRCABIN ホームページより引用

2021年の開業当初は、年間約200万人の利用者を見込んでいたが、コロナ禍の影響により実際は100万人程度となり運賃や広告収入などの収益も予想を下回る結果となる。そのため、感染防止対策を徹底し利用者の増加を図った結果、コロナの収束もあり概ね計画通りの利用者となる。今後は、ゴンドラ内での音声ガイドやAR技術の導入、季節やイベントに合わせた装飾や演出などを行うことで、魅力を高めていく予定である。

また、横浜市や周辺施設との連携を強化することで、ロープウェイを含む観光ルートやパッケージプランなどを提供することを考えており、YOKOHAMA AIR CABINは、横浜の新たなシンボルとしてなりつつある。



【参考データ】

建設費	80 億円	
直線距離	630m	(片道)
乗車時間	5 分	(片道)
定員	8 名	
ゴンドラ数	36 台	
当初計画	200 万人/年	
実際人員	120 万人	コロナ禍
	160 万人	2023 年 4~12 月
点検頻度	通常点検	1 回/月
	定期点検	12 日間/年
	大規模更新	12,000 時間 モーター交換





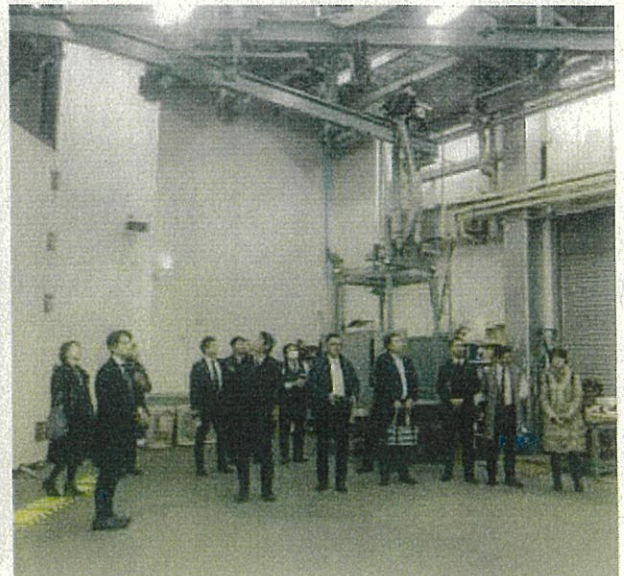
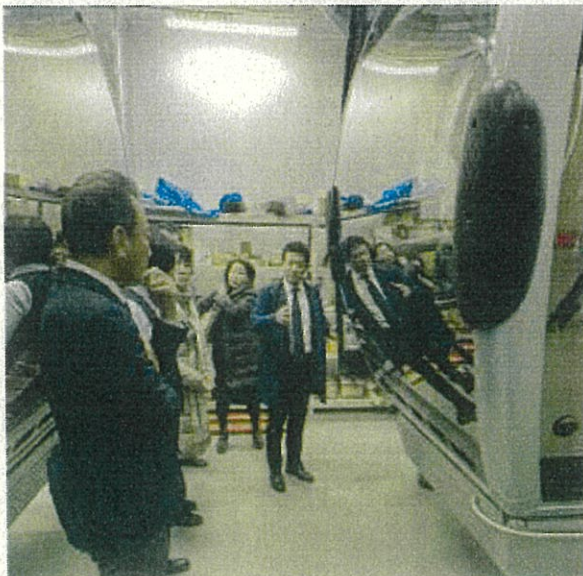
【所見】神戸への展開について

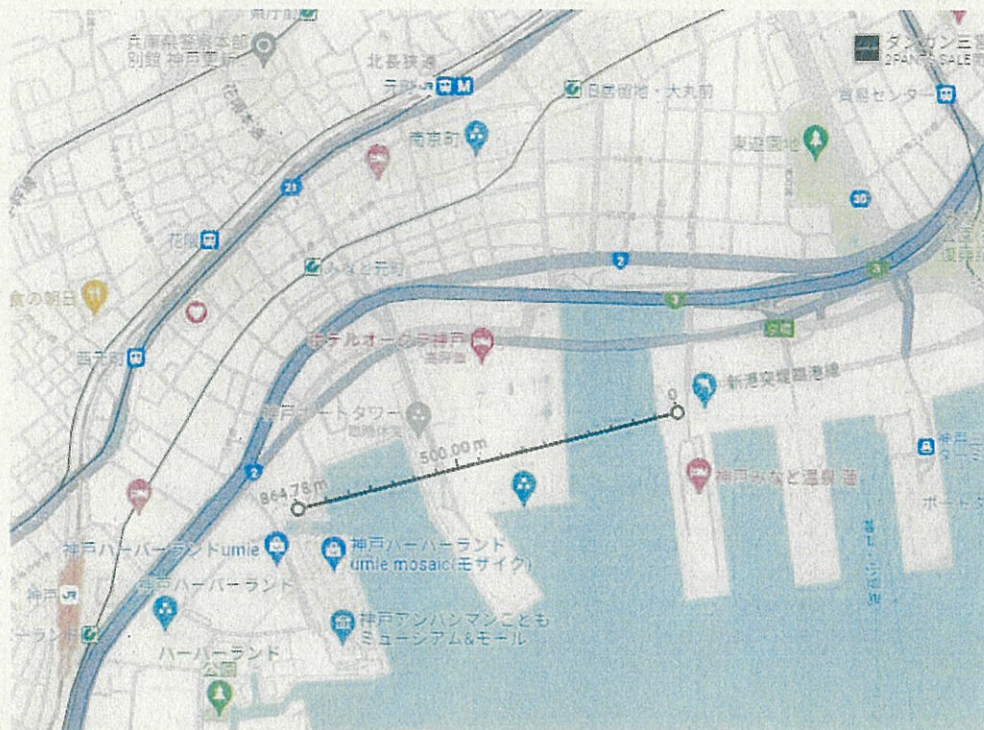
ロープウェイは、駅前からウォーターフロントエリアへの回遊性改善、また観光の目玉としての期待が持たれる。一方でロープウェイの性質上直線となることから経路が限定される。参考図 1・2 を参照いただくと、三ノ宮駅からポートオアシスまで直線で 1,170m、第一突堤から高浜岸壁まで 870m となる。

距離が伸びれば建設費が増えることもあり、採算性の問題が出てくる。

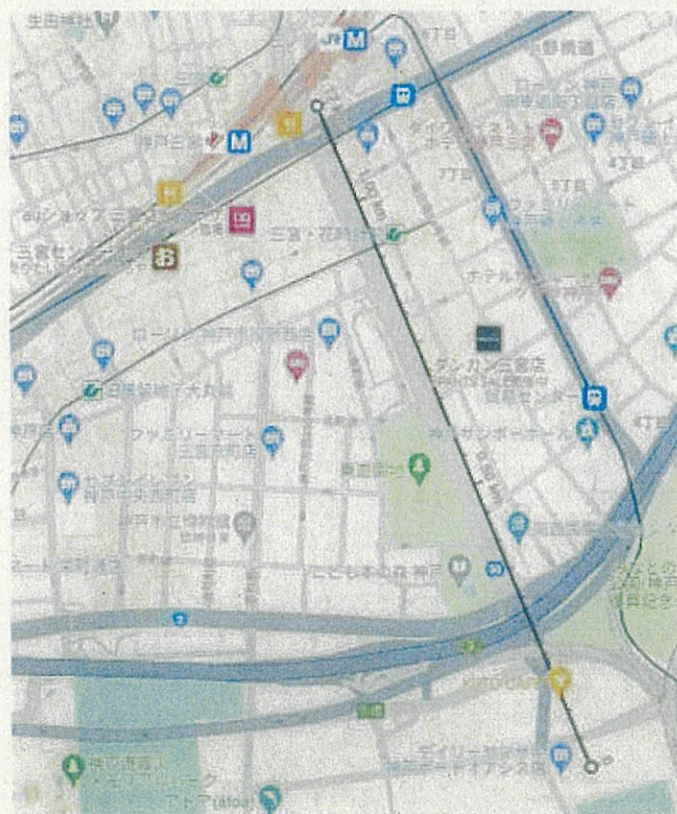
横浜は 630m で 80 億円ということから三ノ宮駅からで 100 億、高浜岸壁では 90 億程度必要になると想定され、噂される LRT や地下鉄などといった移動手段よりは低額で建設できる反面、風の影響を受けやすく、六甲山からの風や海からの風の影響による運休が心配されるところである。

駅前から乗れる環境であればそれなりの需要は見込まれると思われ、観光ルートの一つとして人気があると考えられる。また通常のロープウェイだけではなく自走式のタイプも現在開発されつつあり、直進だけではない経路が可能となり、今後応用が考えられる。





【参考図 1】 三ノ宮駅前 - ポートオアシスの直線距離 (1170m) © Google Map



【参考図 2】 高浜岸壁 第一突堤間の直線距離 (865m) © Google Map

【日時】2023年12月14日 14:00～16:00

【視察先】京浜フェリーポート株式会社 港内クルーズ船
クルーズ船乗り場、象の鼻テラス
「ウォーターフロントエリア活性化と港内クルーズ船の観光需要について」

(ご担当者) 京浜フェリーポート株式会社 代表取締役社長 佐藤和徳 様
観光船事業部 様

■ ウォーターフロントエリア活性化と港内クルーズ船の観光需要について

【概要】ウォーターフロントエリアの整備や観光のインバウンド需要などに関連して、京浜フェリーポート株式会社が運営する横浜港内クルーズ船を視察した。

横浜港内を巡るクルーズの所要時間はおよそ45分程度となっており、海上からの横浜の景色は圧巻で、船内のアナウンスも分かりやすく、横浜港の歴史や魅力を伝えるパンフレットにも日本語と英語が併記されており外国人客向けの工夫が随所に見られた。

その後、横浜市が設置し民間企業に管理を委託している「象の鼻テラス」の中で、行政によるみなのみらい地区の整備について、遊覧船を操業する立場からのご意見を伺った。

横浜市港湾局賑わい振興課とは、日頃より率直な意見交換が行われており、同社の提案も柔軟に取り入れ、施策や取り組みが調整されることもあるとのこと。全てが完璧ではないものの、官民連携の深化によりハード・ソフトの両面で、横浜港の発展・賑わい創出の施策展開が進んでいるとの印象を受けた。クルーズ船の乗客数は増加しており、経営状況は良好とのことであった。



【所見】魅力的なウォーターフロントエリアをもつ神戸市としても、様々な観光資源を最大限に活用すべく、回遊性を考慮しながらハード面やソフト面を適切に整備を続ける必要がある。

遊覧船の操業などの民間事業者においては、さらに活発な経済活動が行えるよう環境を整えていかなければならないと考える。神戸市が設置している棧橋や岸壁についても、実際に操業する事業者にとって使いやすいものになっているか、事業者とのコミュニケーションが重要であると感じた。

また、外国人観光客（インバウンド需要）向けの施設整備や昼と夜の特別な楽しみ方、季節に応じたオプション的な企画を行うなどの官民連携した取り組みも求められる。

横浜港では、横浜最大級の光と音楽のイルミネーションイベント「ヨルノヨ」というイベントが行われ、水際線や歴史的建造物を活かし、「巡り、出会い、混ざる」をテーマに、新港中央広場でのプロジェクションマッピングや、街全体が光と音楽にあわせて躍動するイルミネーションショーが30分に1回実施される。多くの人々が臨港部に集まることで横浜港の新しい魅力づくりの一環とされている。同イベントは2023年11月27日～2024年1月4日までの長期間。その他にも、様々なイベントが順次開催されているとのこと。



神戸港ウォーターフロントエリアには、遊覧船の操業やポートタワー、歴史的建造物が点在していることから、今現在でも横浜港に似たポテンシャルがすでにある。この魅力をいかに活かす取り組みが出来るかが今後の課題。民間事業者と共に考えながら港湾活性化施策を進める必要がある。

その一つに、2024年1月19日～1月28日の10日間開催される「KOBE ルミナリエ」がある。横浜のヨルノヨと比較すると開催期間は短いと感じる。その他にも、神戸港での夜市など一過性のイベントだけでなく、イベント開催期間をなるべく長期間とし、また年間を通して多くのイベントを開催することで、神戸港周辺での滞在型観光を促進する施策が今後求められると考える。

横浜港にて民間事業者に伺ったご意見や取り組みから、神戸港湾エリアの賑わい作りや観光資源を活かす様々なヒントを得た。港湾の魅力を最大限に発信できる施策に活かしたいと考える。



使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-1
------	-------	-------------	------

(領収書等貼付面)

■ご利用便の領収書

		ND5NVH 2024年5月1日/1MAY2024	
領収書 RECEIPT			
宛名 RECEIVED FROM	日本維新の会 神戸市会議員団		様
金額 THE SUM OF	¥ 47,080 -	適用税率 Tax rate	10%
但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。 The above amount was received with thanks as a travel fare/fee.			
お支払い方法 PAYMENT METHOD	現金・クレジットカード・その他お支払いを含みます。 Includes payments by cash, credit cards, and others.		
		スカイマーク株式会社 Skymark Airlines Inc.	
		<small>登録番号 Registration No.</small> T7010801019529	

10/30 入金済
 (のまち議員
 三木議員
 岩谷議員
 政務調査員)


神戸→羽田

(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)

(備考)	横浜方面視察 (12/13~12/14) 航空運賃 スカイマーク 4名分	小計(単位:円) 47,080
------	---	--------------------

使途項目 管外調査費		領収書 整理番号	11-1
---------------	--	-------------	------

(請求書・納品書等貼付面)

		インターネット受付 払込受領証 (お客様控え)		Customer Copy
受付日時	2023年 10月 30日	時間	13時 53分	
受付店舗	19457-6 神戸市役所西			
申込No.	194577303500029	お申込商品代金	47,080円	
受付番号	433372			
お客様氏名	野町 圭一 様			
	0783220185			
12/13 102便	09:20発 #0511	合計金額	47,080円	
発行者	お問合せや領収書のご依頼は下記までご連絡ください			
	お問合せ先: スカイマーク予約センター			
	電話番号: 0570-039-283			
	お問合せ受付時間: 08:00-20:30			
	ホームページ: http://www.skymark.jp			


(請求書・納品書は重なり合わないよう貼付してください。領収書等を貼付しないでください。)

(備考)	横浜方面視察 (12/13~12/14) 航空運賃 スカイマーク 490円	のまち議員、三木議員、岩谷議員、 政務調査員
------	--	---------------------------

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-2
------	-------	-------------	------

(領収書等貼付面)

■ご利用便の領収書

		ODZVWG 2024年5月1日/1MAY2024	
領収書 RECEIPT			
宛名 RECEIVED FROM	日本維新の会 神戸市議員団		様
金額 THE SUM OF	￥ 95,160 -	適用税率 Tax rate	10%
但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。 The above amount was received with thanks as a travel fare/fee.			
お支払い方法 PAYMENT METHOD	現金・クレジットカード・その他お支払いを含みます。 Includes payments by cash, credit cards, and others.		
		スカイマーク株式会社 Skymark Airlines Inc.	
		<small>登録番号 Registration No.</small> T7010801019529	

※請求金額 95,160円のうち
 グレドマーク/分 1,000円は私費負担

10/30 入金済
 大井議員
 黒田議員
 川口議員
 山本議員
 原議員
 住本議員
 ながさわ議員
 たしの議員

(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)

(備考)	横浜方面視察 (12/13~12/14) 航空運賃 スカイマーク 神戸→ 570円	小計(単位:円) 870円	94,160
------	---	------------------	--------

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-2
------	-------	-------------	------

(請求書・納品書等貼付面)

AIDP

インターネット受付 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日時: 2023年 10月 30日.. 時間 13時 54分

受付店舗: 19457-6

神戸市役所西

申込No.: 1945773035008198

お申込商品代金 94,160円

受付番号: 958189

お客様氏名: 大井 敏弘 様

0783220185

12/13 102便09:20発 #0510

合計金額 94,160円

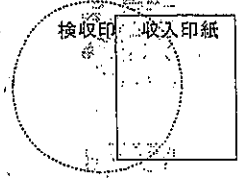
発行者: お問合せや領収書のご依頼は下記までご連絡ください

お問合せ先: スカイマーク予約センター

電話番号: 0570-039-283

お問合せ受付時間: 08:00-20:30

ホームページ: <http://www.skymark.jp>




(請求書・納品書は重なり合わないよう貼付してください。領収書等を貼付しないでください。)

(備考) 横浜方面視察 (12/13~12/14) 大井議員、黒田議員、川口議員、山本議員
 航空運賃 スカイマーク 8名分 原議員、住本議員、なかにし議員、なみの議員

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-3
------	-------	-------------	------

(領収書等貼付面)

■ご利用便の領収書

		TDHEML 2024年5月1日/1MAY2024	
領収書 RECEIPT			
宛名 RECEIVED FROM	日本維新の会 神戸市議員団		様
金額 THE SUM OF	¥ 23,540 -	適用税率 Tax rate	10%
但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。 The above amount was received with thanks as a travel fare/fee.			
お支払い方法 PAYMENT METHOD	現金・クレジットカード・その他お支払いを含みます。 Includes payments by cash, credit cards, and others.		
		スカイマーク株式会社 Skymark Airlines Inc.	
		登録番号 Registration No. 77010801019529	

10/30 入金済
 (高橋議員
 さとう議員)


神戸 → 羽田

(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)

(備考)	横浜方面視察 (12/13~12/14) 航空運賃 スカイマーク 2名分	小計(単位:円) 23,540
------	---	--------------------

使途項目 管外調査費		領収書 整理番号	11-3
---------------	--	-------------	------

(請求書・納品書等貼付面)

		インターネット受付 払込受領証 (お客様控え)		Customer Copy
受付日時	2023年 10月 30日	時間	13時 55分	
受付店舗	19457-6 神戸市役所西			
申込No.	1945773035015899	お申込商品代金	23,540円	
受付番号	831772			
お客様氏名	高橋 稔枝 様 0783220185			
12/13 102便09:20発 #0513		合計金額	23,540円	
発行者	お問合せや領収書のご依頼は下記までご連絡ください			
	お問合せ先: スカイマーク予約センター			
	電話番号: 0570-039-283			
	お問合せ受付時間: 08:00-20:30		ホームページ: http://www.skymark.jp	

(請求書・納品書は重なり合わないよう貼付してください。領収書等を貼付しないでください。)

(備考) 横浜方面視察 (12/13~12/14)
 航空運賃 スカイマーク 2名分 高橋議員、さとう議員

政務活動費領収書等貼付用紙

使途項目 管外調査費		領収書 整理番号 11-4														
(領収書等貼付面) <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">領 収 書</td> <td style="text-align: right;">日本維新の会 神戸市会議員団 様</td> </tr> <tr> <td>Receipt</td> <td></td> </tr> <tr> <td>領収年月日</td> <td>2023.12.14</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>¥89,760</td> </tr> <tr> <td></td> <td>登録番号: T9011001029597</td> </tr> <tr> <td></td> <td>税 10%</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">上記金額確かに領収いたしました</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"> 購入商品 JR乗車券類 (20086 6枚) 東日本旅客鉄道株式会社 桜木町駅VF1発行 30087-02 </td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済 </td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">新横浜 → 新神戸</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">¥14,960.- × 6名</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> 大井議員 高橋議員 ながの議員 山本議員 三木議員 黒田議員 </div>			領 収 書	日本維新の会 神戸市会議員団 様	Receipt		領収年月日	2023.12.14	金額	¥89,760		登録番号: T9011001029597		税 10%	購入商品 JR乗車券類 (20086 6枚) 東日本旅客鉄道株式会社 桜木町駅VF1発行 30087-02	印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済
領 収 書	日本維新の会 神戸市会議員団 様															
Receipt																
領収年月日	2023.12.14															
金額	¥89,760															
	登録番号: T9011001029597															
	税 10%															
購入商品 JR乗車券類 (20086 6枚) 東日本旅客鉄道株式会社 桜木町駅VF1発行 30087-02	印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済															
(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)																
(備考) 横浜方面視察 (12/13~12/14) 新幹線代	小計(単位:円) 89,760															

政務活動費領収書等貼付用紙

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-5
<p>(領収書等貼付面)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">領 収 書 日本新幹線の会</p> <p style="text-align: center;">Receipt <u>神戸市会議員団</u> 様</p> <p>領収年月日 2023.12.14 登録番号: T9011001029597</p> <p>金額 ¥89,760 税10%</p> <p style="font-size: small;">上記金額確かに領収いたしました</p> <p>購入商品 JR乗車券類 印紙税申告納 (60083 6枚) 付につき渋谷 東日本旅客鉄道株式会社 税務署承認済 桜木町駅VF1発行 00084-02</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">新横浜 → 新神戸</p> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">¥.14,960.- × 6名</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p style="margin: 0;">ざとう議員</p> <p style="margin: 0;">川口議員</p> <p style="margin: 0;">原議員</p> <p style="margin: 0;">のまち議員</p> <p style="margin: 0;">岩谷議員</p> <p style="margin: 0;">政務調査員</p> </div>			
(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)			
(備考)	横浜方面視察 (12/13~12/14) 新幹線代	小計(単位:円) 89,760	

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-6
------	-------	-------------	------

(領収書等貼付面)

領 収 書

日本維新の会
神戸市会議員様

Receipt
領収年月日 2023.12.13 登録番号: T9011001029597
金額 ¥19,830 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類
(40137, 1枚)
東日本旅客鉄道株式会社
桜木町駅VF1発行 50138-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

¥19,830.-のうち ¥14,960.- 支出
(乗車券、特急券代金のみ)

桜木町 → 新神戸

(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)

<p>(備考)</p> <p>横浜方面視察 (12/13~12/14) 新幹線代 住本議員</p>	<p>小計(単位:円)</p> <p style="text-align: right;">14,960</p>
---	--

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	11-7																
<p>(領収書等貼付面)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <small>No. 51027718 スマートEX 表示日 2023年12月19日 14時28分</small> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>領収書 RECEIPT</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>宛名 RECEIVED FROM 日本維新の会 神戸市会議員団 様</p> </div> <hr/> <p>お預かり番号 RESERVATION NUMBER 2015</p> <hr/> <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:15%;"><small>金額計</small> TOTAL AMOUNT</td> <td style="width:35%;">¥14,760 (10%・税込) <small>(クレジットカード利用・Credit card use)</small></td> <td style="width:15%;"><small>内容</small> DETAIL</td> <td style="width:35%;">乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE</td> </tr> </table> <hr/> <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:15%;"><small>購入日</small> DATE OF PURCHASE</td> <td style="width:35%;">2023年11月28日</td> <td style="width:15%;"><small>乗車日</small> DATE OF DEPARTURE</td> <td style="width:35%;">2023年12月14日</td> </tr> </table> <hr/> <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:15%;"><small>取扱カード会社</small> CARD COMPANY</td> <td style="width:35%;">MUFG</td> <td style="width:15%;"><small>クレジットカード番号</small> CARD NUMBER</td> <td style="width:35%; border: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <hr/> <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:15%;"><small>列車名・券種 利用区間</small></td> <td style="width:35%;">のぞみ29号 新横浜 FROM</td> <td style="width:15%; text-align: center;">→ 新神戸 TO</td> <td style="width:35%;"></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <small>東海旅客鉄道株式会社 Central Japan Railway Company 登録番号 T3180001031569</small> </div> <div style="margin-top: 20px;"> </div>				<small>金額計</small> TOTAL AMOUNT	¥14,760 (10%・税込) <small>(クレジットカード利用・Credit card use)</small>	<small>内容</small> DETAIL	乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE	<small>購入日</small> DATE OF PURCHASE	2023年11月28日	<small>乗車日</small> DATE OF DEPARTURE	2023年12月14日	<small>取扱カード会社</small> CARD COMPANY	MUFG	<small>クレジットカード番号</small> CARD NUMBER		<small>列車名・券種 利用区間</small>	のぞみ29号 新横浜 FROM	→ 新神戸 TO	
<small>金額計</small> TOTAL AMOUNT	¥14,760 (10%・税込) <small>(クレジットカード利用・Credit card use)</small>	<small>内容</small> DETAIL	乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE																
<small>購入日</small> DATE OF PURCHASE	2023年11月28日	<small>乗車日</small> DATE OF DEPARTURE	2023年12月14日																
<small>取扱カード会社</small> CARD COMPANY	MUFG	<small>クレジットカード番号</small> CARD NUMBER																	
<small>列車名・券種 利用区間</small>	のぞみ29号 新横浜 FROM	→ 新神戸 TO																	
<small>(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)</small>																			
(備考)	(12/13~12/14) 横浜方面視察 新幹線代 南野議員	小計(単位:円)	14,760																

令和6年 3月 11日

市 会 議 長 様

会派の名称 日本維新の会 神戸市会議員団

会派の代表者の氏名

ながさわ 淳一



管 外 調 査 に つ い て (届 出)

このたび、下記により管外調査することになりましたので、お届けします。

調査者氏名 住本 かずのり			
月 日	調査先	調 査 項 目	文 書 依 頼 の 要 否 (到着予定時刻)
3・21	川崎市	指定都市市長会 シンポジウムin川崎	要 (: 頃) <input checked="" type="checkbox"/>
			要 (: 頃) ・否
			要 (: 頃) ・否
			要 (: 頃) ・否
			要 (: 頃) ・否
上記のとおり調査期間は 2024年 3月 21日から 3月 22日まで2日間			備 考 開催が夜の為、後泊を認める
① 議 員 (1 名分)		51,200 円	
② 政 務 調 査 員 (名分)		円	
③ 管 外 調 査 費 合 計 (①+②)		51,200 円	調査代表者 住本 かずのり

[様式 5]

市 会 議 長 様



2024年 3月 28日

会派の名称
日本維新の会 神戸市議員団
調査代表者の氏名
住本 かずのり



管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 調査者氏名
住本 かずのり
- 2 調査先
川崎市 指定都市市長会、シンポジウムin川崎
- 3 調査期間 2024年 3月 21日から 2024年 3月 22日まで

4 精 算 額

区 分	調 査 者	調査費合計額(①)	①のうち航空賃	①のうち鉄道賃 (急行料金、座席指定 料金等が必要なもの)
届 出 額	議員 1名 政務調査員 名	51,200円	0 円	31,180円
精 算 額	議員 名 政務調査員 名	51,200円	0 円	31,180円
過 不 足 (不足△)		0 円	0 円	0 円

※航空賃、鉄道賃（急行料金、座席指定料金等が必要なものに限る。）については、領収書を様式18に貼付のうえ提出してください。

管外調査報告書

令和6年3月21日～22日
川崎方面

日本維新の会 神戸市会議員団

指定都市市長会シンポジウム in 川崎・視察レポート

ステーションコンファレンス川崎 2024年3月21日

住本かずのり

【テーマ】10年後を見据えた大都市のあり方を考える

-今、必要な大都市の役割、制度とは-

第1部 基調講演 牧原 出氏（東京大学 先端科学技術研究センター教授）

「2040年の危機を見据えて今、大都市に必要なこと」

基調講演では、2040年危機（人口ボリュームゾーンが高齢者になる年）について、未来的思考でどう対処するかという講演であった。我が国は急激な人口増が起きない限り（また起きたとしても十数年に及ぶブランクがあるが）生産性低下は否めない。現実在即して、人口減に対応した社会を作らなければならない。

総務省・自治体戦略2040構想研究会は第32次地方制度調査会（2020年6月最終報告）答申提出分において以下のように報告した。

・若者を吸収しながら老いていく東京圏と支え手を失う地方圏、標準的な人生設計の消滅による雇用・教育の機能不全、スポンジ化する都市と朽ち果てるインフラ。

・スマート自治体への転換：現在の半分の職員でサービス供給必要⇒DX化は必須であり公共私ベストミックスによる暮らしの維持、圏域マネジメントと二層化の柔軟化（周辺自治体との連携）。

以上のことより、課題は内政全般にわたり、自治体行政のあり方を根本的に見直す必要がある。医療・介護・インフラ、空間管理など、住民サービスの多くを支えるのは地方自治体であり、持続可能な形で住民サービスを提供し続けられるようなプラットフォームであり続けなければならない。そして、新たな自治体と各府省の施策（アプリケーション）の機能が最大限発揮できるようにするための自治体行政（OS）の書き換えが議論すべきことである。

第 33 次地方制度調査会の諮問事項

「社会全体の DX の進展及び新型コロナウイルス感染症対応で直面した課題等を踏まえ、ポストコロナの経済社会に的確に対応する観点から、国と地方公共団体及び地方公共団体相互間の関係その他の必要な地方制度のあり方について。」

人口減の解決策としての自治体の DX 化は、職員個々の業務負担軽減が目的であるのだが、デジタル関係業務に時間を取られない業務改革が必要であり、市民との関係全てをデジタル化するのではなく、重要な局面ではしっかり対面で市民意識を把握する必要もある。デジタル化による技術革新で疲弊しない業務改革には、十分なデジタルリテラシーを持つことが前提である。

これまでの答申にあったように、今後の持続可能な大都市経営には地方分権改革・地方制度改革、すなわちアプリケーションと OS 改革が必須である。それには、政治改革による首相と地方分権改革による首長の重要性が増大するということである。今後の人口減少時代の大都市行政は、スポンジ化への対応、高齢者対応の重要性、デジタル化による効率的な市政運営、技術革新による成長余力の探索、にぎわい創出の空間造成が必要になる。そのためには、時間がある間（2040 年までに）に実験的手法が有効（うまくいかないかもしれないが、とにかくやってみる）である。例として「リビングラボ」（市民参加型の楽しさ、エンタメ系活動）など市民協働の「危機」を意識しながら前向きに取り組むことで、連携先の自治体・市民とも協働していく。

大都市の生態として、多様なコミュニティと孤独な群衆、「生ける大都市」に相応しい制度とは何か、また政令指定都市という制度からの脱却は可能か、模索が必要な時代である。大都市はその性格からは、近隣の中小市町村と密接な協力が可能だし、都道府県と並列するに同格の権限も有する。その点を考えると特別市という位置付けにより、都道府県と並ぶ国とのパートナーへなり得るのではないか。一般論よりは、個別論を強調する都市制度へと制度設計の基礎となる「大都市からなる国のかたちへ」再論が必要である。

第2部 パネルディスカッション「10年後を見据えて大都市に求められること-特別市の法制化とともに-」

パネリスト：久元喜造神戸市長（指定都市市長会会長）、福田紀彦川崎市長
田中和徳衆議院議員、牧原出コーディネーター

福田川崎市長：10年後を見据えた大都市のあり方の中でも人手不足が懸念されているが、コロナ禍で一時話題が消されていたのだが、職員不足の中での住民サービスの維持のためには、DX化、仕事のやり方を根本的に変えていく必要がある。危機はもう来ている。自治体行政を根本的に見直すべきである。OSの書き換え、住民サービスのアプリケーションのOSを上手くやらないと維持できない。一刻の猶予もない。

久元神戸市長：10年後どうなるか、危機をどう回避するか、については危機はもう来ている。DX化で多くのことが変えられるようになった。例えばワクチン接種情報、病床の空き状況、自治体で把握できるようになり、そこから県に上げ、国に逆報告にしたような形になり、ネットワークも伝達事項がうまく行かなかった。

また、高密度の画像で地域を見ることができるようになった。

「神戸データラウンジ」の紹介。行政データの利活用。

神戸市は小学校区単位ごとの人口動向、年齢、転入転出がわかるようにしている。90種類のデータが全市小学校区ごとにわかるようになった。どこから転入してきたか、どこへ転出していくのか、年齢は何歳が多いのか、子育て世代なのかなど。ここまで自治体が把握できるようになると、基礎自治体と国の関係が変わる。行政区だけの権限強化は時代遅れである。地方自治体は議会と情報共有し、産学官連携しOSを書き換えて都市経営していくべきである。

田中衆議院議員：人口減少で高齢化が進んでいることが喫緊の課題。異次元の少子化対策。東京23区政令市に日本の人口30%集中している。DX化はデジタル化の中で働き方改革につながる。

特別市設置について

福田川崎市長：都道府県の権限でやる業務、(コロナ禍、災害対策など)権限はかけ離れている。コロナ禍でもかなり無理があることがわかった。制度上、47都道府県と市町村となっているが、限界はすでにきている。それはコロナ禍でも証明されている。川崎市は横浜市と東京都に挟まれており、影響は少ないが災害時も県の上下連携により近隣との水平連携が役に立った。土砂災害対策区域指定も、県の権限で市は市民の窓口のみ。幼稚

園、保育所も縣市と権限分かれている。

特別市制度は未制度化であるが、2重行政解消のためには必要である。都道府県と政令市の一層制度、税の直接投資などメリットは大きい。

久元神戸市長：人は産まれない所に人口は集まる。例えば、韓国は出生率0.7ソウルは0.5である。大都市が周辺地域のリーダーとなり、中心的役割をする。発展させるリソースを持っているはずである。DX化周辺連携できるはずである。相互関係、水平連携、コロナ禍でも痛感した。同じ仕事をしている都市同士の方が連携を共感できる。

多極分散型社会が望ましい（例えばドイツの例）。日本は国民に都道府県は感性に根を張っている存在である。特別市制度は都道府県を解体するのではなく、政令指定都市を横並びにする感覚である。分析してみると、実は東京の特別区は他の政令指定都市と比較すれば、財政力、債務残高などかなり開きがあることがわかっており、格差が広がっている。権限財源の分散している結果である。

【所感】2040年危機を見越しての危機的大都市経営はすでに始まっている。これまでと同じような権限、財源、人材だけでは十分な住民サービスの提供ができなくなるのは必然である。そうなる根本的な自治体行政のあり方を見直す必要がある訳だが、それは大幅な施策（アプリケーション）と自治体行政（OS）の書き換えである。例えば、新しいPCを手に入れるようなものである。見た目は変わらないが、中身が変わっており、DX化により業務の効率化、迅速化、省力化などで業務が大きく変化する。

日本はコロナ禍を経験して、ワクチン接種や病床数の問題など、様々な国の対応が遅れた結果、地方も対応が遅れたという事案が発生した。これは国から都道府県、そこから市町村と権限が降りてくるシステムにより現場の課題と中央との格差がかなりあったことが原因の一つでもあり、国都道府県と大都市のひずみが顕著になった。もし、今後コロナ禍のような伝染病が流行した場合、アプリケーションとOSが変わっていたらどうなるだろうか。現場の判断で一刻を争う患者に対して一番近いところで直近の課題に即時に対応する。近隣の自治体と連携して課題共有し臨機応変な対応を実施する。もちろん財源も必要なので、財源移管もしておく。厚労省と保健所設置市町村が直接やりとりすると情報共有化も迅速にできる。自治体のスマート化はポストコロナの世界では必須である。今やDX化デジタル化インフラが進み必ずしも現地に行かなくても会議や仕事ができることがわかった。働き方改革、高齢化、少子化、新型感染ウイルス、大規模災害対応等、自治体行政の対応は益々複雑化、多様化していく現状を適切な権限・財源委譲、様々なデジタル技術・叡智を使ってこれから来る2040年問題に立ち向かっていかねばならないと考える。



政務活動費領収書等貼付用紙

使途項目	管外調査費	領収書 整理番号	12-1
<p>(領収書等貼付面)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p style="text-align: center;">日本新幹線の会 神戸市会議員団 様</p> <p>Receipt 領収年月日 2024-3-19 登録番号: T1120001059675 金額 ¥31,180 (消費税等込み) 税10%</p> <p>上記金額確かに領収いたしました</p> <p>購入商品 JR乗車券類 (00511 4枚) 西日本旅客鉄道株式会社 三ノ宮駅F3発行 10512-01</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 印紙税申告納 付につき大定 税務署承認済 </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">新神戸→品川 (往復)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">(領収書等が重なり合わないよう貼付してください。請求書や納品書を貼付しないでください。)</p>			
(備考)	小計(単位:円)		
(3/21~3/22) 川崎視察 新幹線代 往本議員	31,180		